

うたごえ新聞

8 / 30

(1982年)

NO.923

THE SINGING
VOICE OF JAPAN

日本のうたごえ全国協議会機関紙
発行：東京都新宿区大久保2-16-36
☎03 (209) 0638~9 うたごえ新聞社
振替口座 東京2-5631 昭和34年1月31日
第三種郵便物認可 毎週月曜日発行
1部80円(〒25円)・月330円(〒120円)

原爆許すまじの合唱、8月の広島に

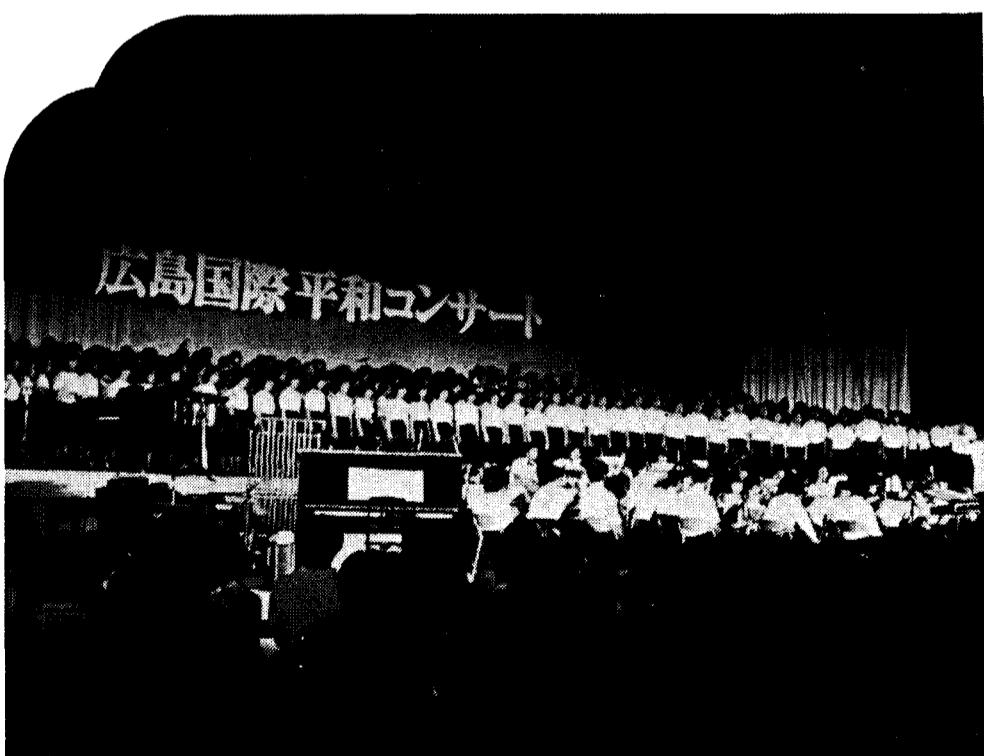


平和行進、中央舞台などで540名の代表団

第二回国連軍縮特別総会後、初めて世界的な規模で開かれた八二年原水爆禁止世界大会。全国のうたごえ合唱団は、この一年間にくり広げてきた反核・平和コンサート^④の成果を持ち寄って、五百四十名を越える参加、八月五日の平和行進か

ら「明日への伝言」や「青い空は」などで大会参加者を激励しました。世界大会中央舞台、同分散会、広島国際平和コンサート、原爆犠牲者に捧げる音楽の夕べ、日本原水協集会へ歌と踊り伝統芸能などと、各地の平和コンサート

の報告が発表され、「原爆を許すまじを世界の空に」とかかげた総会方針を見事に実践しました。この活動には広島大学生合唱連盟、広島ママさんコーラス、大阪・堺フロイデ合唱団も参加、合同出演しました。(関連記事2、4、5面)



'82原水禁世界大会 特集号

写真④=全国うたごえ合同合唱団による出演はここ数年、かつてない出演者数で「永遠のみどり」などが演奏されました(8月6日、広島県体育館の平和コンサート)

④=原水禁世界大会原水協集会にも400余名の合唱で出演しました(8月7日、体育館で指揮は広島合唱団の熊谷氏)



破れはしたものの沖繩・興南高校の仲田投手は大きくみえた。かつてイレブン^①十一人部員で甲子園に登場してきた徳島・池田高校は実力を倍増しての活躍。広島商業の健闘が光る一方で地元では――。

★ ☆
なぜ甲子園野球だけ過剰報道か、との批判もある。NHK・紅白歌合戦に對抗した番組もあったが、甲子園に對抗して萩本欽ちゃん

は定時制通信制高校野球に熱を入れている。
★ ☆
同じ釜の飯を喰った仲、はスポーツの世界だけでないのを強烈に知ったのは、原水禁世界大会でのSSD代表団。たった二週間の釜

なのに同じ合唱団員以上。語り飲み朝方まで旅館に帰ってこなかった御人もいた。
★ ☆
その代表団が広島に結果した率の高さは七〇%を越えた。メインステージ、分散会、平和行進と大活躍、さすがと思わせる。と同じぐらいの奮闘を学生諸君。京都での合宿から徹夜バスでの強行軍なのに。

★ ☆
高橋事務局長、橋本センター・プロ社長、同・森下さんらは一カ月余の広島滞在。昼は誰、夜は誰と当番制で食事係。ほとんどが初めての試みで苦労もあったが同じ釜でカパーしあったのだらう。

★ ☆
夏来ても
白足みせて
サラリーマン(末)